

上水道コンクリート施設防食塗料(ライニング材)

SC-EN 工法

JWWA K 143 適合仕様

水系エポキシ樹脂 + 無溶剤型エポキシ樹脂

この工法は、コンクリート下地の状態が悪い場合や補修の場合などで大きな不陸調整が必要な場合に、下地修正材として、エポキシエマルジョンのポリマーセメントモルタル「SRエポミルクEM」を塗布した上に、SC-2N工法を用いるものです。

使用材料

工程	商品名	タイプ
下地修正	SRエポミルクEM	水系エポキシポリマーセメント
下塗り	サンユコート L-265(K143対応)	無溶剤型エポキシ樹脂
中塗り	サンユコート L-265(K143対応)	無溶剤型エポキシ樹脂
上塗り	サンユコート L-275(K143対応)	無溶剤型エポキシ樹脂

商品の性状、特徴、使用(配合)については製品技術資料を参照下さい。

施工方法及び工程

1) 下地処理

突起物、レイタンス等 不純物除去のため、ディスクサンダーにより処理する。

2) 下地修正

清掃後 水系エポキシをゴムベラ、金ゴテ等により均一に全面塗布する。

3) 下塗り

下地修正材硬化後、無溶剤型エポキシ樹脂をゴムベラ、金ゴテ等により均一に全面塗布する。

4) 中塗り

下塗り材硬化後、無溶剤型エポキシ樹脂をゴムベラ、金ゴテ等により均一に全面塗布する。

5) 上塗り

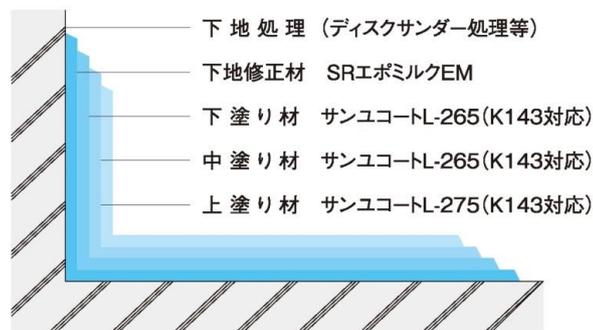
中塗り材硬化後、無溶剤型エポキシ樹脂をローラーバケ等により均一に1~2回全面に塗布する。

特記事項

- ① 下地処理は、必ず全面ディスクサンダー等にて処理する。
- ② 下地修正材が硬化し、水分が10%以下であることを確認後 次工程に入る。
- ③ 中塗り終了後、ピンホールがないことを確認した後、上塗り材を塗布する。
- ④ 上塗りは1~2工程とし、冬場の施工ではゴムベラ等を用いる。

施工図

乾燥膜厚
下塗+中塗+上塗 0.5mm以上



お問い合わせは

全国上下水道エポキシ工事業協会会員(全エポ協)

サンユレック株式会社 建設材料事業部

本社
大阪営業所
東京営業所

〒569-8558
TEL (072)669-4302
〒103-0027
TEL (03)3273-7415

大阪府高槻市道鶴町3-5-1

FAX (072)669-1239

東京都中央区日本橋1-15-4 (サンユ日本橋1丁目ビル)

FAX (03)3273-7420